

基本方針編

総量削減

サービス機能の維持

目指す
将来

本市の公共施設が持続可能な保有量や運営形態となり、安心安全に維持管理されている状態
公共施設で提供するサービス機能が十分に活用されている状態

財産経営の課題

- ・人口の減少による暮らしや地域社会の変貌への対応（現行計画）
 - ・財政状況の逼迫の中での維持管理コストの確保（現行計画）
- 加えて
- ・取り組みの加速（特に地域別実行計画の推進加速）
 - ・数値目標の設定
 - ・全市・全区施設の具体的再編への着手

対象施設

本市の全ての建築物

公共施設の最適化

ハード

改修・更新時期をとらえた関連施設の再編(多機能化・複合化)
保全費用の圧縮と平準化

ソフト

施設評価に基づく対象施設の経営改善
使い方の工夫 多機能化・複合化や未利用スペースの貸付

ハード・ソフト両面での最適化を前提とした持続可能な施設再編案と、達成度を測る数値目標を示す

推進体制と進め方

- ・新潟市財産経営推進本部（本部長:市長）のもと公共施設、インフラ資産部会において計画策定・進行管理
- ・インフラ資産は、各資産別に策定した計画に基づき、現状維持を重視した計画保全を実施
- ・公共施設は、「新潟市公共施設の種類ごとの配置方針」に基づき5つのステップにより計画の具体化・深化と見える化を図る。
- ・計画期間中に10年おきなど環境変化に応じた見直しを行う。

改定財産経営推進計画骨子（案）

公共施設編

総量削減

サービス機能の維持

施設全体の共通方針と施設種類ごとの配置の考え方（市公共施設の種類ごとの配置方針）

圏域ⅠおよびⅡ施設の再編案および圏域Ⅲ施設再編案と作成にあたっての基本的な考え方

数値目標の設定

圏域ⅠおよびⅡ施設の再編案と着手のタイミング

<再編案作成の基本的考え方>

- ・ 事業評価・更新時期評価を実施し再編案を作成
- ・ 施設種類ごとに圏域内での集約化の検討を進める。

<着手のタイミング>

- ・ 再編は長寿命化の時期など、施設異動のタイミングで施設種類ごとに圏域内での集約化の検討を進める

圏域Ⅲ施設の再編案と着手のタイミング

<再編案作成の基本的考え方>

- ・ 事業評価・更新時期評価を実施し再編案を作成
- ・ 地域別実行計画の策定を通じ地域と検討
- ・ 地域密着施設は将来的に原則1か所を目指しつつ、圏域の広さや施設利用率、人口等を勘案し集約化複合化を図る。
- ・ 特定目的の施設は誰もが利用できる地域密着施設との集約化、複合化を目指す。

<着手のタイミング>

- ・ 計画期間当初10年などに集中的に策定を行う。
- ・ 地域別実行計画の策定は長寿命化の時期など施設に異動がある地域から優先的に着手

PDCAサイクル 数値目標を指標に、地域別実行計画策定状況、コスト状況、長寿命化計画の進行を管理